

平成 22 年度シラバス	学年・期間・区分	5 年次・前期・A 群
	対象学科・専攻	情報工学科
システム設計学 (Software Engineering)	担当教員	堂込 一秀 (Dougome, Kazuhide)
	教員室	情報工学科棟 4 階 (tel 0995-42-9096)
	E-Mail	dougome@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・PBL / 学修単位[講義Ⅱ] / 2 単位	
週あたりの学習時間と回数	(授業(100 分) + 自学自習(200 分)) × 18 回	
[本科目の目標] 大規模システム用のソフトウェアは膨大な量となるため、小規模のプログラムとは本質的に異なる開発方法論が必要になる。本科目では、これまでのソフトウェアエンジニアリングの成果について知り、実際にソフトウェア開発の現場で起こり得る問題点を模擬体験することを目標とする。		
[本科目の位置付け] 本科目では Project Based Learning(PBL)形式によるグループ開発演習を行う。この演習においては、UNIX 上の Web アプリケーションを課題として設定するので、学生はこれらに関する基本的な知識を修得しておく必要がある。		
[学習上の留意点] 本科目は 10 名程度のグループによる作業を含むので、受講する学生には、自発的に問題の発見と解決を行い積極的にグループに貢献する態度が望まれる。自学自習の時間を充分確保して担当分の開発作業を遅滞なく行うこと。なお、作業に遅れが出た場合は、グループリーダーの申し出により授業時間以外に作業を許可する場合がある。		
[授業の内容]		
授業項目	時限数	授業項目に対する達成目標
ソフトウェアエンジニアリング		
1. システム設計	2	システムエンジニアの関与する業務と分類を理解する
2. 開発工程モデル	2	代表的な開発モデルの特徴を理解する
3. 開発工程と作業内容	2	標準的な開発工程の作業内容を理解する
チーム開発演習		課題にそって各開発工程の作業ができる
4. 調査立案工程	2	
5. 外部設計工程	8	
6. 内部設計工程	8	
7. コーディング工程	2	
8. テスト工程	6	
9. 成果発表会	2	
—— 学期末試験 ——	2	授業項目 1 から 9 について達成度を確認する
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解できる
[教科書] なし。 [参考書・補助教材] 特に指定しない。		
[成績評価の基準] 試験(50%) + 演習(50%) - 授業態度(最大 40%)。演習の評価にはグループの評価と個人の評価を含む。授業妨害行為および正当な理由のない欠席は、その程度に応じて授業態度分を減点する。		
[本科(準学士課程)の学習教育目標との関係] 3-c, 3-d [教育プログラムの学習・教育目標との関連] 3-3 [JABEE との関連] (d) (1) ①		